2019 年 10 月 30 日
株式会社オリエンタルランド

2020 年 3 月期 第 2 四半期決算 電話説明会 質疑応答

実　施　日　：	2019 年 10 月 30 日（水）
当社説明者：	執行役員経理部長　堀川 健司 IR グループマネージャー　菅原 海（司会）

以下は、説明会における主な質疑応答を取りまとめたものです。

Q1） 8 月の入園者数が 2 年連続で前年を下回っている要因は猛暑の影響か。近年の入園者数推移から、9 月以降に振り替わって来園しているようにも見えるため通期の入園者数への影響はないのかもしれないが、猛暑への対策は検討しているか。

A1） 猛暑の影響が主な要因である。暑さ対策は既に取り組んでいるが、影響を慎重に見て、今後のコンテンツを検討する際の参考としていく。また、今年度特有の要因としては、ゴールデンウィークが 10 連休になったことで、一部のゲストが来園時期を前倒した影響もあったと推察している。

Q2） 前年同期と比較してシステム関連費用やメンテナンス費が増加しているが、要因は何か。

A2） システム関連費用は、社内環境改善などのインフラ費用であり、メンテナンス費は、立体駐車場や「ソアリン：ファンタスティック・フライト」にかかる投資振替経費の増加が要因である。

Q3） 修正予想には、出控えや消費増税、台風 15 号・19 号の影響などは織り込まれているのか。

A3） 期初予想を上方修正した理由は、上半期の好調に加え、「ソアリン：ファンタスティック・フライト」や、下半期に開催するイベントやプログラムの集客効果を見直したことによるものである。出控えは期初の予想どおりにあるものと考えており、10 月の台風も考慮した。消費増税については、大きな影響はないものと考えている。

Q4） 修正予想と期初予想の下半期を比較すると、正社員人件費の減や、時期ずれを除く諸経費の増があるように見えるが、要因は何か。

A4） 正社員人件費の減は、テーマパーク・オペレーション社員の採用時期の変更によるものである。時期ずれを除く諸経費の増は、東京ディズニーシーの「ファンタズミック！」公演終了に伴い、今年度中に除却費を計上することになったためである。

Q5） 東京ディズニーリゾート・アプリ上でのディズニー・ファストパス取得サービスが始まったが、顧客満足度向上に寄与しているのか。

A5） 顧客満足度への影響は中長期的に見ていく必要があるものの、高い割合のゲストがアプリを利用して発券するようになってきている。また、導入目的の一つでもあった発券機前の待ち列を減らす効果も見られており、空き時間を他の体験にあてられていると思われ、多くのゲストからご好評いただいている。

Q6） 東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催されることによる影響はあると考えているのか。

A6） 現時点では、影響は慎重に見ている。東京を訪れる人が増えるので、機会があれば東京ディズニーリゾートを訪れていただけると嬉しい。

以上